

～7月に園内で発生した感染症～

- ・ヘルパンギーナ（夏風邪）**流行中！**
- ・夏風邪（ヘルパンギーナ以外）
- ・嘔吐、下痢 **流行中！**

胃腸風邪と診断された場合は…

最後の嘔吐から24時間経過

普通便が出ている

食欲が戻り、普通の食事がとれる

左記の状態になったら、登園可能です。

胃腸風邪以外の診断（冷えや、食べすぎ、夏バテ等）の場合は…

食欲があり、全身状態が良ければ登園可能ですが、下痢便が2回／日以上出ている時は、脱水や体力消耗も考えられますので、無理をせず家で様子見て下さい。

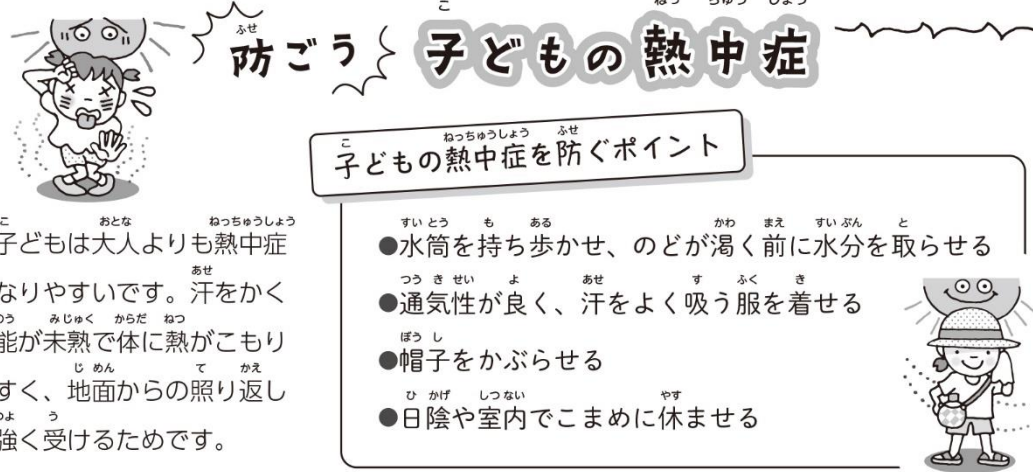
- ・**新型コロナウイルス感染症**（感染拡大することはありませんでした）

防ごう 子どもの熱中症

子どもの熱中症を防ぐポイント

- 水筒を持ち歩かせ、のどが渇く前に水分を取らせる
- 通気性が良く、汗をよく吸う服を着せる
- 帽子をかぶらせる
- 日陰や室内でこまめに休ませる

子どもは大人よりも熱中症になりやすいです。汗をかく機能が未熟で体に熱がこもりやすく、地面からの照り返しを強く受けるためです。



～熱中症対策～

園では、熱中症計を設置しています。暑さ指数と子どもたちの状態を見ながら、外遊びを中止したり、プールの時間を短縮したり、無理のない活動内容で保育を行っています。

室内はエアコンを利用し、室温湿度の調整を行い、水分補給の声掛けをしながら、体調の変化に気を配っています。ご家庭でも、バランスのいい食事、十分な睡眠で、規則正しい生活リズムを心がけ、暑い夏を乗り切りましょう！